2019 年 4 月 26 日

2019 年 12 月期　第 1 四半期　決算レポート

ハイライト

- 2019 年 1-3 月は、海外たばこ事業及び国内たばこ事業における力強いプライシングが牽引し、為替一定ベースの調整後営業利益は前年同期比 7.2%増、財務報告ベースでは為替の影響を受け 6.3%減
- 営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、医薬事業における一時金収入により増益
- 株主還元の一環である自己株式の取得完了(約 1,800 万株、約 500 億円を取得)

事業別の主なトピック

- **海外たばこ事業**
  - 1-3 月のドルベースの為替一定調整後営業利益は、プライシング効果を主因に 13.3%成長
  - バングラデシュ及びロシアにおける買収効果により、総販売数量が増加
  - イタリア・英国・スペイン・台湾・フランス・ロシア等の主要市場において、市場シェアが増加
- **国内たばこ事業**
  - 1-3 月の調整後営業利益は、プライシング効果及び RRP 販売数量の伸長により、4.2%増
  - 紙巻たばこは堅調に推移したものの、RRP 市場の拡大と JT の RRP カテゴリシェアの減少により、紙巻と RRP を合わせたトータルでの JT シェアは減少

代表取締役社長 寺畠 正道　CEO コメント:

“2019 年第 1 四半期は、為替一定調整後営業利益において 7.2%増と順調な滑り出し。当社グループの利益基盤である紙巻たばこについては、海外たばこ事業・国内たばこ事業共にプライシングが力強く牽引しており、利益成長における重要なドライバーであることを再確認した。また、買収効果に加え、主要市場及び日本における紙巻たばこ市場シェアも堅調に推移しトップライン成長に寄与した。

将来の成長基盤である RRP については、1 月に Ploom TECH+及び Ploom S を日本国内において発売を開始し、お客様からポジティブな反応をいただいており、滑り出しは順調。また、本日発表のとおり、6 月中旬には Ploom TECH+の全国拡販を実施し、Ploom TECH、Ploom TECH+、Ploom S を含めた RRP のポートフォリオにより、多様なニーズを満たす最適な選択肢をより多くのお客様に提供していく。
また、海外においても、Logic Compact を複数市場において展開し、Logic ブランドのポートフォリオを着実に拡充。

通期の為替一定調整後営業利益目標達成に向けて順調に進捗している。引き続き、紙巻たばこ及び RRP への投資を行い、中長期的な利益成長を達成していく。“

投資家説明会（電話会議）

投資家説明会（電話会議）は、2019年4月26日、東京時間 16時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(https://www.jti.co.jp/investors/index.html)

（このページは空白です）

2019 年度 第 1 四半期　全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
売上収益	5,150	5,054	-1.9%
調整後営業利益	1,481	1,388	-6.3%
営業利益	1,468	1,826	+24.4%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,040	1,208	+16.2%
為替一定ベース　調整後営業利益	1,481	1,587	+7.2%

2019 年度 第 1 四半期実績

- **売上収益**
  売上収益は、海外たばこ事業における単価上昇効果及び買収による数量効果、国内たばこ事業における紙巻単価上昇効果及び RRP 関連売上収益の増加による増収があるものの、海外たばこ事業における現地通貨対ドルのネガティブな為替影響、加工食品事業の減収及び医薬事業における抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス契約解消による減収により前年同期比 1.9%減の 5,054 億円となりました。

- **調整後営業利益**
  為替一定ベースの調整後営業利益は、医薬事業及び加工食品事業の減益はあるものの、海外たばこ事業及び国内たばこ事業の増益により、前年同期比 7.2%増の 1,587 億円となりました。財務報告ベースでは、現地通貨対ドルのネガティブな為替影響を受けたことにより前年同期比 6.3%減の 1,388 億円となりました。

- **営業利益**
  営業利益は、調整後営業利益の減益、不動産売却益の減少及び買収に係る商標権償却費の増加等はあるものの、医薬事業の抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス契約解消に係る一時金収入により、前年同期比 24.4%増の 1,826 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**
  親会社の所有者に帰属する四半期利益は、金融費用の増加はあるものの、営業利益の増益により前年同期比 16.2%増の 1,208 億円となりました。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
総販売数量	984	1,047	+6.5%
GFB 販売数量	620	644	+3.8%
自社たばこ製品売上収益	2,948	2,868	-2.7%
調整後営業利益	963	892	-7.4%
参考：ドルベース（百万ドル）			
自社たばこ製品売上収益	2,724	2,602	-4.5% (+7.9%)*
調整後営業利益	890	809	-9.1% (+13.3%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

2019 年 1-3 月

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、ギリシャ・バングラデシュ・ロシアにおける買収効果により前年同期比 6.5%増となりました。買収効果を除いた総販売数量は、前年同期とほぼ同水準の 0.1%減となりました。市場シェアは、イタリア・イラン・英国・スペイン・台湾・ドイツ・フランス・ルーマニア等様々な市場において継続的に伸長し、ウクライナ・ヨルダン・ロシア等における総需要減少影響をほぼ相殺しました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+1.7%）・キャメル（+6.0%）・メビウス（+6.6%）・LD（+7.3%）と全ての GFB の力強い成長により、前年同期比 3.8%増となりました。Logic Compact については展開市場の拡大を続けており、4 月時点で 11 市場において展開をしています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、単価上昇効果及び主に買収効果による数量効果はあったものの、ネガティブな為替影響を受けたことにより、それぞれ前年同期比 2.7%減、7.4%減となりました。為替のネガティブな影響は、現地通貨対ドルによるもので、ドル対円のポジティブな動きがこれを一部相殺しました。
  ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな為替影響（▲338 百万ドル）により、前年同期比 4.5%減となりました。為替一定ベースでは、イラン・英国・カナダ・スーダン・ドイツ・フィリピン・ルーマニア等における単価上昇効果（+151 百万ドル）及び主に買収効果による数量効果（+64 百万ドル）により、前年同期比 7.9%増となりました。調整後営業利益は、IRR 及び RUB 等の下落によるネガティブな為替影響により、前年同期比 9.1%減となりました。為替一定ベース調整後営業利益は主に単価上昇効果（+143 百万ドル）により、前年同期比 13.3%増となりました。

海外たばこ事業

クラスター別　四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
総販売数量	160	166	+3.8%
GFB 販売数量	129	136	+5.3%
自社たばこ製品売上収益	519	512	-1.5% (+6.0%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、主にイタリア・スペイン・フランスにおける 3 ヵ月平均市場シェアの増加により、前年同期比 3.8%増となりました。買収効果を除いた総販売数量は、前年同期比 3.3%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 5.3%増となりました。12 ヵ月移動平均市場シェアは、イタリア・オランダ・ギリシャ・スイス・スペイン・フランス・ベルギー・ルクセンブルグにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、数量効果（+23 百万ドル）及び単価上昇効果（+9 百万ドル）があったものの、ネガティブな為替影響（▲39 百万ドル）により、1.5%減となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 6.0%増となりました。

- **市場別実績**
  フランスにおける総販売数量は、3 ヵ月平均市場シェアが 1.7 パーセントポイント増の 24.3%となり、一桁台後半の総需要の減少影響を相殺し、前年同期比 0.5%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 8.5%増となった一方、Fine cut の販売数量は、前年同期比 6.8%減となりました。市場シェアは、前年同期比 1.5 パーセントポイント増の 23.7%となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により成長しました。また、RRP においては、当第 1 四半期において Logic Compact の販売を開始したことにより、E-Vapor のポートフォリオを強化しました。

  イタリアにおける総販売数量は、流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 1.1%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、総需要の減少影響がある中、前年同期比 0.6%減にとどまりました。GFB 販売数量は前年同期比 0.5%減、Fine cut の販売数量は前年同期比 25.2%増となりました。市場シェアは、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 24.0%となりました。為替一定売上収益は、主に単価上昇効果により成長しました。また、RRP においては、当第 1 四半期において Logic Compact の販売を開始し、RRP ポートフォリオを拡大しました。

  スペインにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、主にキャメルが牽引し、それぞれ前年同期比 2.4%増、2.7%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 4.9%増となり、総需要の増加を上回りました。市場シェアは、主にウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 25.0%となりました。為替一定売上収益は、引き続き好調な販売数量増による数量効果及び単価上昇効果により成長しました。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
総販売数量	123	129	+5.1%
GFB 販売数量	52	63	+20.2%
自社たばこ製品売上収益	490	482	-1.8% (+6.2%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、スロバキア・チェコ・ドイツ・ポーランド等における販売数量の増加により、前年同期比 5.1%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルの力強い成長により、前年同期比 20.2%増となりました。市場シェアは、英国・チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランドにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、数量効果（＋10 百万ドル）及び単価上昇効果（＋20 百万ドル）があったものの、ネガティブな為替影響（▲39 百万ドル）により、前年同期比 1.8%減となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 6.2%増となりました。

- **市場別実績**
  ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量、Fine cut の販売数量は、ウィンストンの伸長による市場シェアの増加により、それぞれ前年同期比 12.2%増、22.0%増、22.6%増となりました。市場シェアは、前年同期比 0.5 パーセントポイント増の 8.0%と、6 四半期連続での増加となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により成長しました。

  英国における総販売数量は、総需要の減少影響により、前年同期比 5.2%減となったものの、Fine cut の販売数量は、Sterling が牽引し、前年同期比 0.5%増となりました。市場シェアは、紙巻たばこのベンソン・アンド・ヘッジズ、Fine cut の Sterling が牽引し、前年同期比 1.4 パーセントポイント増の 41.8%と、3 四半期連続での増加となりました。為替一定売上収益は、ネガティブな数量効果を力強い単価上昇効果が相殺し、成長しました。RRP においては、既に確固たる地位を築いている Logic Pro に Logic Compact が加わり、Logic ブランドの RRP カテゴリーにおける Closed tank の売上シェアの増加に貢献しました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
総販売数量	280	275	-1.9%
GFB 販売数量	211	197	-6.6%
自社たばこ製品売上収益	631	548	-13.1% (-1.9%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、買収効果があったものの、ウクライナ及びロシアにおける総需要の減少影響及び流通在庫調整によるマイナス影響により、前年同期比 1.9%減となりました。買収効果を除いた総販売数量は、前年同期比 9.2%減となりました。GFB 販売数量は、総需要の減少影響により、前年同期比 6.6%減となりました。市場シェアは、ウクライナ・カザフスタン・ルーマニア・ロシアにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（+24 百万ドル）があったものの、ネガティブな数量効果（▲36 百万ドル）及び RUB を主因とするネガティブな為替影響（▲70 百万ドル）により、前年同期比 13.1%減となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 1.9%減となりました。

- **市場別実績**
  ルーマニアにおける総販売数量は、ソブラニーが牽引し、前年同期比 0.6%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが伸長したものの、LD の販売数量減により前年同期比 1.1%減となりました。市場シェアは、前年同期比 1.2 パーセントポイント増の 28.1%となり、6 四半期連続での増加となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により、成長しました。また、当第 1 四半期初頭において Logic Compact の販売を開始しました。

  ロシアにおける総販売数量は、買収効果により前年同期比 1.7%増となり、3 ヵ月平均市場シェアは 39.1%に達しました。買収効果を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、1-3 月における総需要の減少影響が 7.8%と推計 [2] される中、それぞれ前年同期比 9.8%減、5.5%減となりました。GFB 市場シェアは前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 24.8%となりましたが、オーガニックでの 12 ヵ月移動平均市場シェアは 0.5 パーセントポイント減の 32.7%となりました。為替一定売上収益は、オーガニックでのネガティブな数量効果及びダウントレーディングの継続によるネガティブな単価効果により、前年同期比で減少しました。また、当第 1 四半期において Logic Compact の販売を開始し、RRP ポートフォリオを強化しました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
総販売数量	421	478	+13.5%
GFB 販売数量	228	248	+9.0%
自社たばこ製品売上収益	1,084	1,060	-2.2% (+15.3%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア [1]**
  総販売数量は、バングラデシュにおける買収効果及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 13.5%と大幅増となりました。買収効果を除いた総販売数量は、アルジェリア・イラン・カンボジア・サウジアラビア・スーダン・台湾・トルコ・フィリピン・レバノン等が牽引し、前年同期比 3.2%増となりました。GFB 販売数量は、全ての GFB で増加し、前年同期比 9.0%増となりました。市場シェアは、イラン・カナダ・韓国・台湾・ブラジル・米国・マレーシア・モロッコ・ヨルダン等複数の市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（+98 百万ドル）及び数量効果（+68 百万ドル）があったものの、ネガティブな為替影響（▲190 百万ドル）により、前年同期比 2.2%減となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 15.3%増となりました。

- **市場別実績**
  イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、キャメル及びローカルブランドの力強いパフォーマンスが牽引し、それぞれ前年同期比 6.0%増、3.0%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた場合、総販売数量は前年同期比 6.6%増となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び力強い単価上昇効果により成長しました。市場シェアは、前年同期比 3.7 パーセントポイント増の 57.0%となりました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、流通在庫調整によるプラス影響及び市場シェアが 1.4 パーセントポイント増の 43.2%と伸長したことにより、それぞれ前年同期比 12.6%、14.6%と大幅な増加となりました。流通在庫調整によるプラス影響を除いた総販売数量は、総需要の増加を上回り、前年同期比 8.7%増となりました。為替一定売上収益は、ダウントレーディングによるネガティブな単価効果を力強い数量効果が上回り、成長しました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の増加影響により、それぞれ前年同期比 9.5%増、11.8%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 10.8%増となりました。為替一定売上収益は、増税影響によるネガティブな単価効果により減少しました。市場シェアは、ウィンストンのシェア増加があったものの、0.7 パーセントポイント減の 27.7%となりました。

[1]出典：IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2019 年 3 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。カナダ・スペイン・チェコ・ドイツ・ハンガリー・ブラジル・米国に関するデータは 2019 年 2 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。2019 年 2 月時点での 12 ヵ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は 2018 年 3 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。
[2] 出典：JTI 内部データ 2019 年 1-3 月ベースの対前年同一期間比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
紙巻総需要	318	291	-8.5%
紙巻販売数量	195	179	-8.3%
自社たばこ製品売上収益	1,293	1,335	+3.2%
調整後営業利益	489	510	+4.2%

2019 年 1-3 月

- **紙巻販売数量**
  紙巻総需要は、定価改定による影響、RRP 市場の拡大及び趨勢減により、前年同期比 8.5%減となりました。当社の紙巻販売数量についても、紙巻総需要の減少影響を受け、前年同期比 8.3%減となりました。紙巻シェアは堅調に推移し、前年同期比 0.1 パーセントポイント増の 61.6%となりました。

- **RRP 販売実績**
  国内たばこ市場における RRP の市場占有率は 2019 年 1 月-3 月で約 23%（出荷ベース）と推計しています。当社の RRP 販売数量は紙巻たばこ換算ベースで 6 億本となり、2019 年 1 月-3 月の RRP カテゴリーに占める実需ベースのシェアは約 8 %と推計しています。
  なお、Ploom TECH+、Ploom S については 1 月からオンライン及び全国の Ploom 専門店での販売を開始しており、Ploom TECH+については 4 月から 6 都府県のコンビニエンスストアでの販売を開始しています。また Ploom TECH+を 6 月 17 日より全国拡販、Ploom S を 7 月 1 日より 6 都府県のコンビニエンスストアで販売開始をいたします。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響（▲95 億円）があったものの、紙巻単価上昇効果（+92 億円）及び RRP 関連売上収益の増加（+41 億円）により前年同期比 3.2%の増収となりました。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響（▲79 億円）があるものの、紙巻単価上昇効果（+92 億円）等により、前年同期比 4.2%の増益となりました。

医薬事業

(億円)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
売上収益	267	228	-14.6%
調整後営業利益	77	45	-41.9%

2019 年 1-3 月

- **売上収益及び調整後営業利益**
  売上収益は、パートナー企業との抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス契約解消等により、前年同期比 14.6%の減収となりました。
  調整後営業利益については、売上収益の減収及び研究開発費の増加により、前年同期比 41.9%の減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2018 年 1-3 月	2019 年 1-3 月	増減率
売上収益	377	360	-4.5%
調整後営業利益	7	3	-59.6%

2019 年 1-3 月

- **売上収益及び調整後営業利益**
  売上収益は、ステープル商品の販売が伸長したものの、その他商品の販売が減少したことにより、前年同期比 4.5%の減収となりました。
  調整後営業利益については、売上収益の減収に加え、原材料費の高騰及び物流費の上昇等により前年同期比 59.6%の減益となりました。

データシート

2019年 Q1実績

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率
売上収益	5,150	5,054	-96	-1.9%
営業利益	1,468	1,826	+358	+24.4%
調整後営業利益	1,481	1,388	-93	-6.3%
税引前利益	1,399	1,727	+328	+23.5%
四半期利益	1,045	1,337	+292	+27.9%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,040	1,208	+168	+16.2%
基本的EPS*（円）	58.07	67.66	+9.59	+16.5%

*基本的EPSは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

（参考）全社

（単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	1,481	1,587	+106	+7.2%

2. 事業セグメント別実績

（単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率
売上収益	5,150	5,054	-96	-1.9%
国内たばこ事業	1,388	1,447	+59	+4.2%
自社たばこ製品売上収益	1,293	1,335	+41	+3.2%
海外たばこ事業	3,101	3,004	-97	-3.1%
自社たばこ製品売上収益	2,948	2,868	-80	-2.7%
医薬事業	267	228	-39	-14.6%
加工食品事業	377	360	-17	-4.5%
その他	18	16	-1	-7.7%
全社　営業利益	1,468	1,826	+358	+24.4%
国内たばこ事業	446	470	+24	+5.3%
海外たばこ事業	870	755	-115	-13.2%
医薬事業	77	650	+573	+744.3%
加工食品事業	7	1	-6	-82.9%
その他/消去	67	-50	-117	-
調整合計	-13	438	+451	-
国内たばこ事業	-43	-40	+3	-
海外たばこ事業	-93	-137	-44	-
医薬事業	-	605	+605	-
加工食品事業	0	-2	-2	-
その他/消去	123	12	-111	-90.2%
全社　調整後営業利益	1,481	1,388	-93	-6.3%
国内たばこ事業	489	510	+21	+4.2%
海外たばこ事業	963	892	-71	-7.4%
医薬事業	77	45	-32	-41.9%
加工食品事業	7	3	-4	-59.6%
その他/消去	-56	-62	-6	-

（参考）海外たばこ事業　ドルベース

（単位：百万ドル）

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	2,724	2,602	-122	-4.5%
為替一定自社たばこ製品売上収益	2,724	2,940	+216	+7.9%
調整後営業利益	890	809	-81	-9.1%
為替一定調整後営業利益	890	1,008	+118	+13.3%

2019年 Q1実績

3. 減価償却費及び償却費 （単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1＊	増減
全社　減価償却費及び償却費	385	425	+41
国内たばこ事業	136	138	+2
海外たばこ事業	214	251	+37
医薬事業	13	14	+1
加工食品事業	15	17	+2
その他/消去	7	6	-1

＊リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ （単位：億円）

	2018年12月末	2019年3月末	増減
資産合計	54,614	54,659	+45
資本合計	27,004	26,726	-279
親会社の所有者に帰属する持分	26,306	25,904	-402
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,468.44	1,460.40	-8.03

5. 手元流動性及び有利子負債 （単位：億円）

	2018年12月末	2019年3月末	増減
手元流動性	3,087	2,856	-231
有利子負債	9,876	10,639	+763

6. 連結キャッシュフロー・データ （単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1	増減
営業キャッシュフロー	802	1,212	+410
投資キャッシュフロー	-213	-394	-182
財務キャッシュフロー	-1,523	-1,014	+509
現金及び現金同等物の期首残高	2,855	2,821	-34
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-95	-9	+86
現金及び現金同等物の期末残高	1,826	2,615	+788
FCF	650	820	+171

7. 資本的支出 （単位：億円）

	2018 Q1	2019 Q1	増減
資本的支出	306	287	-19
国内たばこ事業	108	106	-2
海外たばこ事業	114	112	-2
医薬事業	28	40	+11
加工食品事業	48	13	-35
その他/消去	8	16	+9

8. 為替

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率
USドル/円	108.22	110.22	+2.00	1.8%安
USドル/RUB	56.88	66.12	+9.24	14.0%安
USドル/GBP	0.72	0.77	+0.05	6.4%安
USドル/EUR	0.81	0.88	+0.07	7.5%安
USドル/CHF	0.95	1.00	+0.05	4.8%安
USドル/TWD	29.30	30.82	+1.52	4.9%安
USドル/TRY	3.81	5.36	+1.55	28.9%安
USドル/IRR	46,583	88,454	+41,871	47.3%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2019年度見込
（2019/2/7公表）

1. 全社業績ハイライト　（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
売上収益	22,160	22,000	-160	-0.7%
営業利益	5,650	5,400	-250	-4.4%
調整後営業利益	5,955	5,460	-495	-8.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,857	3,700	-157	-4.1%

（参考）　全社　（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,955	6,100	+145	+2.4%

2.　EPS・配当金・ROE　（単位：円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
基本的EPS	215.31	206.54	-8.77	-4.1%
1株当たり配当金	150.00	154.00	+4.00	+2.7%
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益ベース）	14.3%	13.5%	-0.8%pt	

3. 事業セグメント別売上収益　（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
売上収益	22,160	22,000	-160	-0.7%
国内たばこ事業	6,214	6,500	+286	+4.6%
自社たばこ製品売上収益	5,824	6,200	+376	+6.5%
海外たばこ事業	13,123	13,000	-123	-0.9%
自社たばこ製品売上収益	12,507	12,400	-107	-0.9%
医薬事業	1,140	810	-330	-28.9%
加工食品事業	1,614	1,620	+6	+0.4%
その他	68	60	-8	-12.0%
全社　営業利益	5,650	5,400	-250	-4.4%
国内たばこ事業	1,925	1,990	+65	+3.4%
海外たばこ事業	3,395	3,050	-345	-10.2%
医薬事業	263	610	+347	+132.0%
加工食品事業	29	45	+16	+54.1%
その他/消去	38	-320	-358	-
全社　調整後営業利益	5,955	5,460	-495	-8.3%
国内たばこ事業	2,090	2,150	+60	+2.9%
海外たばこ事業	3,845	3,560	-285	-7.4%
医薬事業	284	50	-234	-82.4%
加工食品事業	41	50	+9	+21.3%
その他/消去	-306	-350	-44	-

（参考）　海外たばこ事業　ドルベース　（単位：百万ドル）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,330	11,300	-30	-0.3%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,330	11,950	+620	+5.5%
調整後営業利益	3,493	3,240	-253	-7.3%
為替一定調整後営業利益	3,493	3,800	+307	+8.8%

2019年度見込
（2019/2/7公表）

4. FCF　（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減
FCF	1,056	3,600	+2,544

5. 資本的支出　（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減
資本的支出	1,598	1,560	-38
国内たばこ事業	554	570	+16
海外たばこ事業	757	800	+43
医薬事業	113	50	-63
加工食品事業	127	80	-47
その他/消去	46	60	+14

6. 業績予想の主な前提条件

○　国内たばこ事業

・2019年の国内たばこ総需要 (推計)：対前年で約5%の減少（2018年の国内たばこ総需要は推計1,670億本）

・2019年の国内紙巻たばこ総需要：対前年で7%台前半の減少（2018年の国内紙巻たばこ総需要は1,327億本）

・2019年のJT紙巻販売数量：対前年で7%台後半の減少（2018年のJT紙巻販売数量は820億本）

・RRP市場占有率 (推計)：2019年は通年で22%~23%（2018年は通年で21%程度）

・2019年のJT RRP販売数量：紙巻換算で50億本程度

○　海外たばこ事業

・2019年の総販売数量：対前年で3%台半ばの増加（2018年の総販売数量は4,276億本）

・2019年のGFB販売数量：対前年で約1%の増加（2018年のGFB販売数量は2,664億本）

＜為替前提レート＞

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
USドル/円	110.44	110.00	-0.44	0.4%高
USドル/RUB	62.68	67.40	+4.72	7.0%安
USドル/GBP	0.75	0.79	+0.04	5.1%安
USドル/EUR	0.85	0.88	+0.03	3.7%安
USドル/CHF	0.98	0.99	+0.01	1.2%安
USドル/TWD	30.14	31.00	+0.86	2.8%安
USドル/TRY	4.82	5.50	+0.68	12.3%安
USドル/IRR	61,649	85,000	+23,351	27.5%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

＜為替感応度＞

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2019年調整後営業利益3,240百万ドル（算定ベース）

・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2019年前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2019年ドルベースAOPが50百万ドル強変動

・50百万ドル強の変動を構成する主な通貨および内訳

RUB 30%、GBP 15%、TWD 10%強、EUR 10%弱、IRR 5%強、TRY 5%、CHF -10%

・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が32億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率	
総販売数量	984	1,047	+64	+6.5%	億本
GFB販売数量	620	644	+24	+3.8%	億本
自社たばこ製品売上収益	2,948	2,868	-80	-2.7%	億円
調整後営業利益	963	892	-71	-7.4%	億円
[参考：ドルベース]					
自社たばこ製品売上収益	2,724	2,602	-122	-4.5%	百万ドル
調整後営業利益	890	809	-81	-9.1%	百万ドル
為替一定ベース					
自社たばこ製品売上収益	2,724	2,940	+216	+7.9%	百万ドル
調整後営業利益	890	1,008	+118	+13.3%	百万ドル

・クラスター別構成比 (前年同期比) (億本/百万ドル)

2019Q1	**総販売数量**		**GFB販売数量**		**自社たばこ製品売上収益**	
SWE	166	+3.8%	136	+5.3%	512	-1.5%
NCE	129	+5.1%	63	+20.2%	482	-1.8%
CIS+	275	-1.9%	197	-6.6%	548	-13.1%
RoW	478	+13.5%	248	+9.0%	1,060	-2.2%
Total	1,047		644		2,602	

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**+3.8%**				**+3.8%**
France	+0.5%				+0.5%
Italy	+1.1%				+1.1%
Spain	+2.4%				+2.4%
NCE	**+5.1%**				**+5.1%**
Germany	+12.2%				+12.2%
UK	-5.2%				-5.2%
CIS+	**-1.9%**				**-1.9%**
Romania	+0.6%				+0.6%
Russia*	+1.7%				+1.7%
RoW	**+13.5%**				**+13.5%**
Iran	+6.0%				+6.0%
Taiwan	+12.6%				+12.6%
Turkey	+9.5%				+9.5%
Total	**+6.5%**				**+6.5%**

＊ 2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	**355** +1.7%				**355** +1.7%
Camel	**139** +6.0%				**139** +6.0%
MEVIUS	**40** +6.6%				**40** +6.6%
LD	**110** +7.3%				**110** +7.3%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**+5.3%**				**+5.3%**
France	+8.5%				+8.5%
Italy	-0.5%				-0.5%
Spain	+2.7%				+2.7%
NCE	**+20.2%**				**+20.2%**
Germany	+22.0%				+22.0%
UK	-23.6%				-23.6%
CIS+	**-6.6%**				**-6.6%**
Romania	-1.1%				-1.1%
Russia	-5.5%				-5.5%
RoW	**+9.0%**				**+9.0%**
Iran	+3.0%				+3.0%
Taiwan	+14.6%				+14.6%
Turkey	+11.8%				+11.8%
Total	**+3.8%**				**+3.8%**

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2018 3月	**2019 3月**	**増減**	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	2018 Q4	2019 Q1
France	**22.1%**	**23.7%**	**+1.5%pt**	*22.6%*	*23.3%*	*23.5%*	*23.6%*	*24.3%*
Italy	**23.2%**	**24.0%**	**+0.8%pt**	*23.5%*	*23.8%*	*23.9%*	*24.2%*	*24.3%*
Russia*	**33.3%**	**37.0%**	**+3.7%pt**	*33.2%*	*32.9%*	*37.3%*	*38.8%*	*39.1%*
Spain	**24.1%**	**25.0%** **	**+0.8%pt**	*24.5%*	*24.8%*	*24.9%*	*25.2%*	*25.3%* **
Taiwan	**41.7%**	**43.2%**	**+1.4%pt**	*41.6%*	*41.9%*	*42.6%*	*43.5%*	*44.5%*
Turkey	**28.4%**	**27.7%**	**-0.7%pt**	*27.8%*	*27.5%*	*27.8%*	*27.7%*	*27.7%*
UK	**40.4%**	**41.8%**	**+1.4%pt**	*41.0%*	*41.0%*	*41.6%*	*42.0%*	*42.7%*

Source: IRI, Nielsen, Logista / 出典元の過去データ修正も反映しています。

* 12カ月移動平均シェア、3ヶ月平均シェアのいずれも2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

** 2019年2月時点の、12ヵ月移動平均および2ヵ月平均を採用しております。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**551** +6.0%				**551** +6.0%
NCE	**521** +6.2%				**521** +6.2%
CIS+	**619** -1.9%				**619** -1.9%
RoW	**1,250** +15.3%				**1,250** +15.3%
Total	**2,940** +7.9%				**2,940** +7.9%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース (百万ドル)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	2,724				2,724
数量差	+64				+64
価格差/Mix	+151				+151
2019 為替一定	2,940				2,940
FX	-338				-338
2019	2,602				2,602

・円ベース (億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	2,948				2,948
Operations	+233				+233
現地通貨 vs. 米ドル	-366				-366
円 vs. 米ドル	+52				+52
2019	2,868				2,868

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース (百万ドル)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	890				890
数量差	+34				+34
価格差/Mix	+143				+143
その他	-59				-59
2019 為替一定	1,008				1,008
FX	-199				-199
2019	809				809

・円ベース (億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	963				963
Operations	+128				+128
現地通貨 vs. 米ドル	-215				-215
米ドル vs. 円	+16				+16
2019	892				892

9. 実績為替レート （前年同期比）

	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2019 YTD
$/RUB	**66.12** 14.0%安				**66.12** 14.0%安
$/GBP	**0.77** 6.4%安				**0.77** 6.4%安
$/EUR	**0.88** 7.5%安				**0.88** 7.5%安
$/CHF	**1.00** 4.8%安				**1.00** 4.8%安
$/TWD	**30.82** 4.9%安				**30.82** 4.9%安
$/TRY	**5.36** 28.9%安				**5.36** 28.9%安
$/IRR	**88,454** 47.3%安				**88,454** 47.3%安
$/JPY	**110.22** 1.8%安				**110.22** 1.8%安

現地通貨 vs USD増減率：（前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート）-1で算出

円 vs USD増減率： （各期のレート／前年同期のレート）-1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー

	2018 Q1	2019 Q1	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要	318	291	-27	-8.5%	億本
紙巻販売数量	195	179	-16	-8.3%	億本

紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2018Q1実績：10億本、2019Q1実績：9億本）およびRRP販売数量を含んでいません

自社たばこ製品売上収益	1,293	1,335	+41	+3.2%	億円
調整後営業利益	489	510	+21	+4.2%	億円

2. 紙巻販売数量

(億本)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	195	208	238	178	820
2019	179				
前年同期比増減率	-8.3%				

3. 紙巻千本当売上収益

(円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	5,895	5,938	5,911	6,355	6,010
2019	6,408				

千本当売上収益＝{販売定価代金-販売店マージン-消費税-たばこ税（国税）-たばこ税（地方税）-たばこ特別税（国税）} /販売数量 x1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

(億本/億円)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
RRP販売数量	6				6
RRP関連売上収益	124				124

5. 要因別 財務実績

(億円)

自社たばこ製品売上収益	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	1,293				1,293
紙巻数量差	-95				-95
紙巻単価差	+92				+92
RRP/その他	+45				+45
2019	1,335				1,335

調整後営業利益	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	489				489
紙巻数量差	-79				-79
紙巻単価差	+92				+92
RRP/その他	+8				+8
2019	510				510

6. 紙巻シェア

(%)

JT Total	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	61.4	61.6	62.5	61.5	61.8
2019	61.6				
MEVIUS					
2018	31.0	31.9	32.3	30.1	31.4
2019	30.6				
Winston					
2018	8.0	8.0	7.9	8.3	8.0
2019	7.9				
Seven Stars					
2018	7.8	7.9	8.2	7.6	7.9
2019	7.9				
Natural American Spirit					
2018	2.0	2.0	2.0	1.8	2.0
2019	1.9				

医薬事業　臨床開発品目一覧　（2019 年 4 月 26 日現在）

＜自社開発品＞

開発番号 （一般名）	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 （実施地域）	備考
JTE-052 （delgocitinib）	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1（国内）	自社品
	アトピー性皮膚炎 /外用			申請中（国内）	自社品 鳥居薬品と共同開発 *小児：Phase3（国内）実施中
JTZ-951 （enarodustat）	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	Phase3（国内） Phase1（海外）	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2（海外）	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2（海外）	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化し、高血糖を是正する	Phase1（海外）	自社品
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1（海外）	自社品
JTT-751 （クエン酸第二鉄水和物）	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	Phase3（国内）	導入品 （Keryx Biopharmaceuticals社） 鳥居薬品と共同開発 *効能追加として開発

(注）開発段階の表記は投薬開始を基準とする

＜導出品＞

一般名等 （当社開発番号）	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2019年2月7日）からの変更点

なし

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 ＝ 営業利益 ＋ 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 ＋ 調整項目（収益及び費用)* *調整項目（収益及び費用) =のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース 調整後営業利益 （全社）	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB （Global Flagship Brands）	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 （海外たばこ事業）	水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek を含む
自社たばこ製品売上収益 （海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこの販売本数（RRP 等を含む）
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（RRP 等は含まない）
紙巻販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売/中国事業/RRP を除く、JT 紙巻たばこの販売本数
RRP 販売数量 （国内たばこ事業）	1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算（デバイス/関連アクセサリー等は含まない） 国内免税販売数量を除く
自社たばこ製品売上収益 （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP 関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 （国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリー等を含む RRP の売上 国内免税販売の売上を含む
手元流動性	手元流動性＝現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	有利子負債 =2018 年 12 月末：短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋リース債務 2019 年 3 月末：短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金* *2019 年度より、有利子負債からリース債務を除外
FCF	FCF＝営業活動 CF＋投資活動 CF ただし以下の項目を除外 • 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響 • 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他 ※IFRS16 号を適用しておりますが、当初見込みから変更はございません

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

（１） 喫煙に関する健康上の懸念の増大
（２） たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（３） 国内外の訴訟の動向
（４） 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（５） 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（６） 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
（７） 買収やビジネスの多角化に伴う影響
（８） 国内外の経済状況
（９） 為替変動及び原材料費の変動
（10） 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社　IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル
03-5572-4292（代表）